

**2022年度 製・配・販連携協議会
活動方針（案）**

2022年7月8日

製・配・販連携協議会 事務局

2022年度の運営方針 背景・課題

- これまでのWG等活動、フィジカルインターネット実現会議に基づき、製・配・販連携協議会としてスーパーマーケット等（加工食品・日用雑貨）アクションプランを実行を推進する。

2021年度WG等活動

- ロジスティクス最適化WG：返品実態調査・リードタイム延長実証・事例共有
- スマート物流構築準備会：内閣府SIPスマート物流との取組：物流データ連携、共同輸配送
- リテールテクノロジー勉強会：経産省RFID事業等の成果共有



フィジカルインターネット実現会議

- フィジカルインターネット・ロードマップ：目標年次2040年
- スーパーマーケット等（加工食品・日用雑貨）アクションプラン：目標年次2030年
製・配・販連携協議会や他の会議体で議論されてきた課題を網羅的にまとめる形で作成

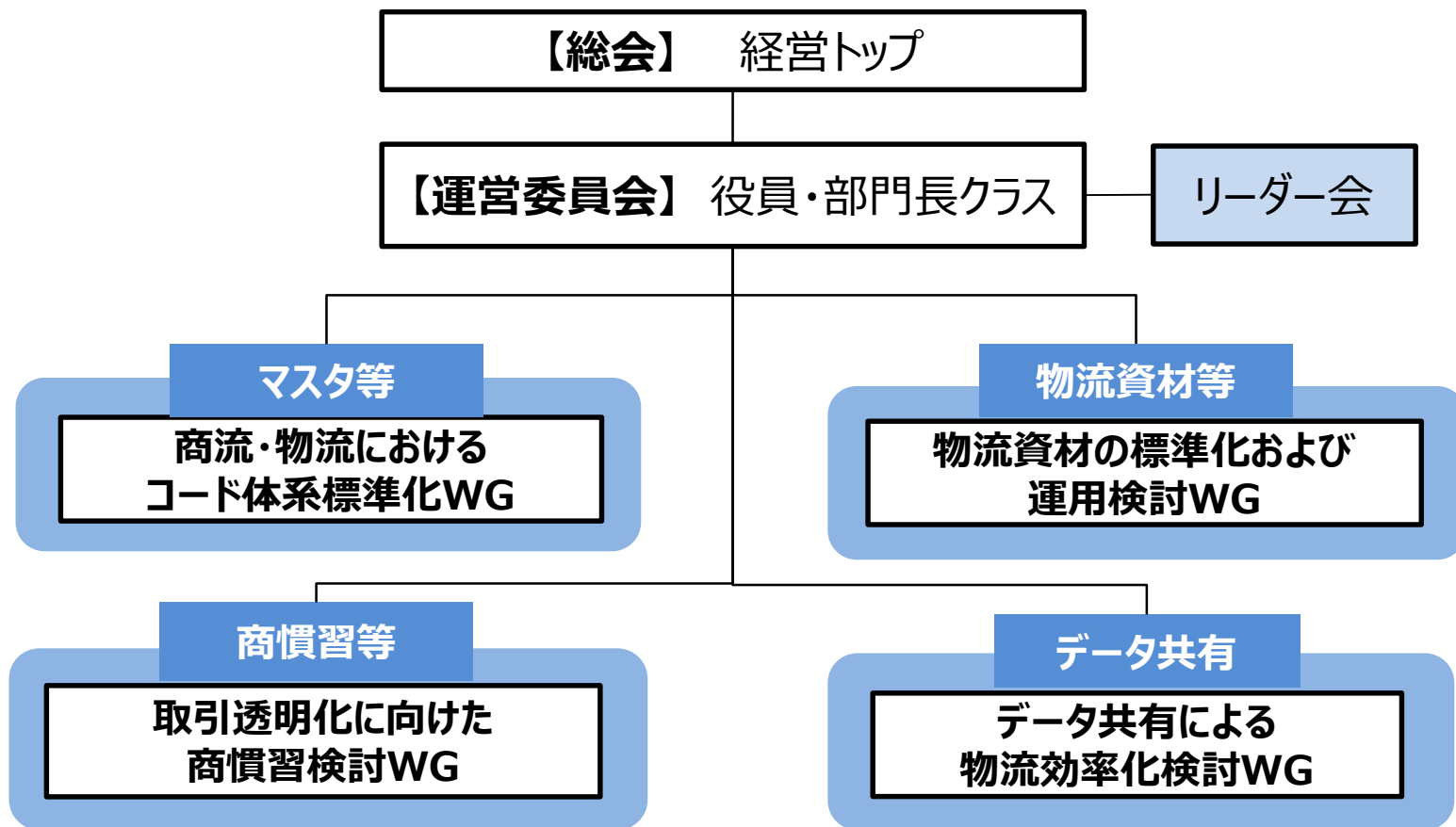


2022年度の活動方針・課題

- サプライチェーン全体の最適化を実現するため、フィジカルインターネット・スーパーマーケット等アクションプラン実行。
- 優先課題である「商流・物流におけるコード体系標準化」「物流資材の標準化および運用検討」「取引透明化に向けた商慣習の見直し」「データの共有の際のルール化」について、ワーキンググループを設置し、検討。

2022年度の運営方針 組織体制

- アクションプランの重要項目ごとに、4つのワーキンググループを組成し、検討を進める。



運営委員会の役割

運営委員会は、実質的な議論を通じて、今後の協議会活動方針を審議・立案する。

➤ 実施内容

- 協議会の方針決定
- 協議会と社内のハブ
- 議会の決定事項をTOP層コミット、各部署への普及・徹底
- WGへの適切なメンバーアサイン

➤ 出席者

- 役員・部門長レベル

➤ 登録

- **必須（全会員必ず登録）**

➤ 実施回数

- 年に1、2回程度（状況に応じて追加招集）

運営委員会 リーダー会

運営委員会リーダー会は、フィジカルインターネット・アクションプラン推進会議として、アクションプランの実行進捗を確認するとともに、4つのWGの相互調整・方向付けを行う。

➤ 実施内容

- フィジカルインターネット・スーパーマーケット等（加工商品・日用雑貨）アクションプランの推進
- 4つのWGの相互調整・方向付け
- アクションプラン推進体制の整備・検討

➤ 出席者

- 製配販各層より2、3社程度
（フィジカルインターネット実現会議スーパーマーケット等WGの後継）

➤ 実施回数

- 2-3か月に1回程度（状況に応じて変更あり）

4つのWG（マスタ等、物流資材等、商慣習等、データ共有）

サプライチェーン全体の視点から、ロジスティクスの最適化を実現するために、調査、実証、あるべき姿の検討を行う。

➤ 実施内容

- 商流・物流におけるコード体系標準化
- 物流資材の標準化および運用検討
- 取引透明化に向けた商慣習検討
- データ共有による物流効率化検討

➤ 出席者

- 実務責任者レベル（+部門長レベル）
- （テーマに関係する協議会外の企業・団体、有識者等にも参加要請）

➤ 登録必須

- 任意

➤ 実施回数

- 全体会 2か月に1回程度
- 分科会・リーダー会 随時

スーパーマーケット(加工商品・日用雑貨) アクションプランより

① 商流・物流におけるコード体系標準化WG

- アクションプランの大項目「物流・商流データプラットフォーム」の中項目「マスタデータ連携・コード体系整理」部分について、「何をどこからどこに運ぶのか」という情報を、グローバル標準であるGS1標準を基本として、**荷姿ごとにどのようなコード体系で運用すべきか**、そのルール化を行う。
- また、「何を」にあたる商品情報のマスタや、「どこからどこへ」にあたる事業所マスタの標準化については特に重要な項目であるため、**業界標準のマスタ構築を視野に入れた議論を進める**。

中項目	小項目	実施主体	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	検討会議体
マスタデータ連携 コード体系整理	商品マスタ (GTIN)	メーカー・卸・小売			標準化に向けたプロジェクトの発足・方針合意	プロジェクト内で標準化の合意 運営体制の合意	順次運用開始 (製配販連携協議会メンバー2026年、メンバー外(大企業) 2028年、メンバー外(中小企業) 2030年)						【新設】 商流・物流 における コード体系 標準化WG	
	事業所・場所マスタ構築 (GLN等)	メーカー・卸・小売			標準化に向けたプロジェクトの発足・方針合意	運営体制合意・順次運用開始 (製配販連携協議会メンバー2024年、メンバー外(大企業) 2026年、メンバー外(中小企業) 2030年)								
	各種物流コード体系整理 (SSCC、GRAI)	メーカー・卸・小売			各種コード体系の標準化に向けたプロジェクトの発足・方針合意	プロジェクト内で標準化の合意	運用ルールブック作成 順次コード体系の変更 (製配販連携協議会メンバー 2025年 メンバー外(大企業) 2027年 メンバー外(中小企業) 2029年)							

② 物流資材の標準化および運用検討WG

- アクションプランの大項目「水平連携（標準化・シェアリング）」の中項目「ユニットロードの標準化」について、パレット標準化推進分科会等の先行検討会の内容を踏襲しながら、**パレット、コンテナ、カゴ台車等の物流資材の形状やサイズの標準化を進める。**
- また、標準化を進めることによって自社所有からレンタル利用に切り替わる際の、コスト負担のルール化も含めた**レンタル物流資材の運用方法について検討を行う。**

中項目	小項目	実施主体	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	検討会議体
ケースの標準化	外装表示の標準化 (加工食品物流標準化研究会内容踏襲)	加メーカー	事業者間の連携による標準化に向けたプロジェクトの発足	プロジェクト内で標準化の合意	社内外の関係者との共有と合意	・外装表示の変更が可能な商品から随時実施 ・外装表示変更完了 (製配販連携協議会メンバー-2024年 メンバー外-2025年)								【新設】 物流資材の標準化 および運用 検討WG
	外装サイズの標準化 (加工食品物流標準化研究会内容踏襲)	加メーカー	事業者間の連携による標準化に向けたプロジェクトの発足	プロジェクト内で標準化の合意	社内外の関係者との共有と合意	・外装サイズの変更が可能な商品から随時実施 ・外装サイズ変更完了 (製配販連携協議会メンバー-2025年 メンバー外-2026年)								
パレットの標準化	パレットサイズの標準化 (加工食品物流標準化研究会/ パレット標準化推進分科会内容踏襲)	メーカー・卸	事業者間の連携による標準化に向けたプロジェクトの発足	プロジェクト内で標準化の合意 ※パレット分科会の動向を踏まえる	社内外の関係者との共有と合意	・合意されたパレットに順次変更 ・標準パレット導入完了（2025年）								
	カゴ車その他の標準化	卸・小売		事業者間の連携による標準化に向けたプロジェクトの発足	プロジェクト内で標準化の合意	・順次標準カゴ車へ変更 ・変更完了（2027年）								
コンテナ・クレートの標準化	クレート標準化	卸・小売		事業者間の連携による標準化に向けたプロジェクトの発足	プロジェクト内で標準化の合意	・順次標準クレートへ変更 ・変更完了（2027年）								
	コンテナ（スマートボックス）の標準化・活用	全体			・スマートボックス検討のためのプロジェクト発足 (製配販連携協議会メンバー) ・標準化、運用ルール検討	・順次標準スマートボックスへ変更 ・変更完了（2030年）								
物流資材マネジメント	RFIDの活用による物流資材・荷物管理	全体		実証実験を通じた有用性の確認・導入に向けてのルール化	社内外の関係者との共有と合意	標準の物流資材を導入するタイミングで、RFIDも搭載								
	物流資材のレンタル共同システムの活用	全体			物流資材共有のためのルール検討	・順次標準のレンタル物流資材に変更 ・変更完了（2027年）								

③取引透明化に向けた商慣習検討WG

- アクションプランの大項目「垂直統合（BtoBtoCのSCM）」の小項目「物流コストの可視化、取引の際の物流明細提示による取引価格の透明化」・「定番商品の発注適正化」・「新商品・販促商品の発注適正化」について、店着価格制のような、共同輸配送、共同拠点利用を妨げるような商慣習の整理を行い、**取引の際の物流明細提示化など各種商慣習のルール化を行う。**

中項目	小項目	実施主体	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	検討会議体
商取引の適正化	物流コストの可視化、取引の際の物流明細提示による取引価格の透明化	メーカー・卸・小売			・現状の実態把握 ・あるべき姿の策定	・物流コストの可視化 ・明細提示のルール策定	商取引における物流費明細提示開始 (製配販連携協議会メンバー2025年 メンバー外2027年)				フィジカルインターネット実現の際の物流費用の考え方 検討開始		【新設】 取引透明化に向けた 商取引検討 WG	
在庫管理・発注業務	定番商品の発注適正化 (発注単位・発注ロット等)	卸・小売			・定番品の発注のルール化 ・新商品・販促品の発注のルール化		ルールに沿った運用へ切替 (製配販連携協議会メンバー2025年 メンバー外2026年)							
	新商品・販促商品の発注適正化 (リードタイム等)	卸・小売												

④ データ共有による物流効率化検討WG

- アクションプランの大項目「物流・商流データプラットフォーム」の中項目「商流・物流データ連携基盤構築」および「共同輸配送・最適化のためのデータ連携マッチング機能」について、製・配・販連携協議会スマート物流構築準備会の議論を踏襲し、共同輸配送、共同拠点利用のマッチングに必要な各種データの整理や、**SIPスマート物流基盤を活用した異なるプラットフォーム間でのデータ共有の在り方等のルール化**について検討を行う。

中項目	小項目	実施主体	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	検討会議体
データ連携基盤	商流・物流データ連携基盤構築	ベンダー	SIPスマート物流 商流・物流基盤構築 順次機能追加											【新設】 データ共有による物流 効率化検討WG (SIPスマート物流構築準備会の後継)
共同輸配送・最適化のためのデータ連携マッチング機能	小売・卸配送データの連携・共同配送マッチング機能	小売・卸	SIPスマート物流 日用消費財 ドラッグ・コンビニ 概念実証と実運用テスト											
	メーカー輸配送データの連携・共同配送マッチング機能	メーカー・卸	SIPデータ基盤を活用した輸配送の共同化・ 納品伝票のデータ連携 順次スタート (製配販連携協議会メンバー)											
	輸配送実績データの共同利用	メーカー・卸・小売	順次、データ連携・共同化参加企業の拡大 (業界間・地域間) (製配販連携協議会メンバー以外)											

2022年度の運営方針 参加会員の役割

加盟企業活動内容一覧	
返品実態調査の報告	必須
策定された解決策の実行拡大・普及推進	必須
取組事例の共有（SCI大賞選考対象）	必須
運営委員会への参加	必須
各ワーキンググループ等への参加	任意